

財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

1頁

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価格	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	
現金	小口現金	—	運転資金として	—	—	69,705
預金	但馬銀行本店営業部	—	運転資金として	—	—	278,803,574
小計(現金預金)						278,873,279
事業未収金		—	豊岡市他8件	—	—	114,241,381
未収補助金		—	豊岡市他5件	—	—	10,909,902
前払費用		—	賠償等保険料2件	—	—	721,148
短期貸付金		—	利用者立替金会計	—	—	1,500,000
流動資産合計						406,245,710
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(加陽いちごの里拠点)兵庫県豊岡市加陽659番地(1749.05㎡)	—	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	—	—	16,013,750
建物	(このとり荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番37号建物他37件	昭和60年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホームに使用している。	1,606,344,196	1,193,366,792	412,977,404
	(このとり荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番36号建物他7件	平成22年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	105,649,754	47,378,535	58,271,219
	(コスモス荘拠点)兵庫県豊岡市塩津町2番36号建物他4件	平成21年度	第1種社会福祉事業である養護老人ホームに使用している。	297,857,514	170,936,223	126,921,291
	(加陽いちごの里拠点)兵庫県豊岡市加陽659番地建物他3件	平成18年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービス事業に使用している。	19,458,732	16,347,099	3,111,633
小計(建物)						601,281,547
定期預金	但馬銀行本店営業部	—	基本財産特定預金	—	—	1,000,000
基本財産合計						618,295,297
(2) その他の固定資産						
建物	物置外 50件	—	利用者用等	91,831,051	45,491,479	46,339,572
構築物	玄武岩庭石外 10件	—	利用者用等	10,612,164	9,593,386	1,018,778
機械及び装置	プレハブ冷凍冷蔵庫外 69件	—	利用者用等	54,182,673	44,565,017	9,617,656
車輛運搬具	トヨタ ハイエース外 22件	—	利用者送迎用等	53,594,710	43,022,145	10,572,565
器具及び備品	歩行補助平行棒外 427件	—	利用者用等	137,976,572	122,618,770	15,357,802
有形リース資産	パソコン28台他	—		5,974,418	2,493,109	3,481,309
権利	電話加入権 3台	—		—	—	224,128
ソフトウェア	無形固定資産 14件	—	介護システム等	6,731,626	6,343,952	387,674
無形リース資産	パソコン28台他	—		3,460,078	1,330,224	2,129,854
退職給付引当資産	退職共済事業主累計額123名	—		—	—	92,281,691
長期前払費用	車輛リサイクル預託金外1件	—		—	—	659,283
施設整備積立資産	施設整備積立金	—		—	—	445,456,674
その他の積立資産	人件費積立金	—		—	—	53,000,000
その他の固定資産合計						680,526,986
固定資産合計						1,298,822,283
資産合計						1,705,067,993

財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

2頁

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価格	減価償却累計額	貸借対照表価額
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	社会保険外64件	—		—	—	26,688,692
1年以内返済予定リース債務	パソコンリース債務	—		—	—	2,227,280
職員預り金	所得税外1件	—		—	—	2,207,157
賞与引当金	12月～3月分 142名	—	令和3年度夏季賞与引当額	—	—	36,395,373
流動負債合計						67,518,502
2 固定負債						
リース債務	パソコンリース債務	—		—	—	3,917,623
退職給付引当金	退職共済期末要支給額123名	—		—	—	132,477,747
固定負債合計						136,395,370
負債合計						203,913,872
差引純資産						1,501,154,121

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。

なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。

- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。

また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。

- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	406,245,710	358,518,072	47,727,638	流動負債	67,518,502	67,209,703	308,799
現金預金	278,873,279	242,624,051	36,249,228	事業未払金	26,688,692	23,638,038	3,050,654
事業未収金	114,241,381	114,987,249	△745,868	1年以内返済予定リース債務	2,227,280	2,227,282	△2
未収補助金	10,909,902	1,631,898	9,278,004	預り金		3,400	△3,400
前払費用	721,148	1,227,816	△506,668	職員預り金	2,207,157	2,610,150	△402,993
短期貸付金	1,500,000	1,500,000		賞与引当金	36,395,373	38,730,833	△2,335,460
徴収不能引当金		△3,452,942	3,452,942				
固定資産	1,298,822,283	1,333,992,194	△35,169,911	固定負債	136,395,370	160,730,609	△24,335,239
基本財産	618,295,297	669,843,373	△51,548,076	リース債務	3,917,623	6,144,905	△2,227,282
土地	16,013,750	16,013,750		退職給付引当金	132,477,747	154,585,704	△22,107,957
建物	601,281,547	652,829,623	△51,548,076	負債の部合計	203,913,872	227,940,312	△24,026,440
定期預金	1,000,000	1,000,000		純資産の部			
その他の固定資産	680,526,986	664,148,821	16,378,165	基本金	213,584,976	213,584,976	
建物	46,339,572	50,223,336	△3,883,764	第一号基本金	213,584,976	213,584,976	
構築物	1,018,778	1,723,864	△705,086	国庫補助金等特別積立金	342,794,282	375,720,137	△32,925,855
機械及び装置	9,617,656	12,728,142	△3,110,486	その他の積立金	498,456,674	453,262,206	45,194,468
車輛運搬具	10,572,565	12,034,874	△1,462,309	施設整備積立金	445,456,674	400,262,206	45,194,468
器具及び備品	15,357,802	20,902,761	△5,544,959	人件費積立金	53,000,000	53,000,000	
有形リース資産	3,481,309	4,787,080	△1,305,771	次期繰越活動増減差額	446,318,189	422,002,635	24,315,554
権利	224,128	224,128		(うち当期活動増減差額)	69,510,022	23,438,886	46,071,136
ソフトウェア	387,674	1,057,918	△670,244				
無形リース資産	2,129,854	2,860,966	△731,112				
退職給付引当資産	92,281,691	103,509,553	△11,227,862				
長期前払費用	659,283	833,993	△174,710				
施設整備積立資産	445,456,674	400,262,206	45,194,468				
人件費積立資産	53,000,000	53,000,000		純資産の部合計	1,501,154,121	1,464,569,954	36,584,167
資産の部合計	1,705,067,993	1,692,510,266	12,557,727	負債及び純資産の部合計	1,705,067,993	1,692,510,266	12,557,727

資金収支計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入					
	介護保険事業収入	767,289,000	761,658,259	5,630,741		
	施設介護料収入	444,900,000	440,442,299	4,457,701		
	居宅介護料収入	166,944,000	165,419,612	1,524,388		
	(介護報酬収入)	149,544,000	150,495,817	△951,817		
	(利用者負担金収入)	17,400,000	14,923,795	2,476,205		
	居宅介護支援介護料収入	22,500,000	22,752,390	△252,390		
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,640,000	7,379,634	△739,634		
	利用者等利用料収入	122,430,000	122,074,128	355,872		
	その他の事業収入	3,880,000	3,590,196	289,804		
	(保険等査定減)	△5,000		△5,000		
	老人福祉事業収入	122,000,000	124,187,962	△2,187,962		
	措置事業収入	122,000,000	124,187,962	△2,187,962		
	その他の事業収入	8,960,000	15,925,724	△6,965,724		
	その他の事業収入	8,960,000	15,925,724	△6,965,724		
	経常経費寄附金収入	130,000	205,000	△75,000		
	受取利息配当金収入	45,000	43,602	1,398		
	その他の収入	3,565,000	3,839,095	△274,095		
	受入研修費収入	194,000	121,404	72,596		
	利用者等外給食費収入	30,000	2,000	28,000		
	雑収入	3,341,000	3,715,691	△374,691		
	事業活動収入計(1)	901,989,000	905,859,642	△3,870,642		
	支出	人件費支出	669,595,000	666,517,027	3,077,973	
		役員報酬支出	300,000	240,000	60,000	
		職員給料支出	382,080,000	381,260,101	819,899	
		職員賞与支出	119,015,000	118,867,931	147,069	
		非常勤職員給与支出	36,250,000	35,995,570	254,430	
退職給付支出		50,300,000	49,647,165	652,835		
法定福利費支出		81,650,000	80,506,260	1,143,740		
事業費支出		124,490,000	123,068,200	1,421,800		
給食費支出		52,700,000	50,992,121	1,707,879		
介護用品費支出		7,000,000	6,858,544	141,456		
医薬品費支出		5,570,000	5,476,059	93,941		
保健衛生費支出		1,460,000	2,467,405	△1,007,405		
被服費支出		650,000	275,634	374,366		
教養娯楽費支出		780,000	568,156	211,844		
日用品費支出		2,970,000	2,746,794	223,206		
本人支給金支出		3,950,000	3,813,936	136,064		
水道光熱費支出		33,680,000	34,452,059	△772,059		
燃料費支出		170,000	113,194	56,806		
消耗器具備品費支出		5,050,000	5,025,072	24,928		
保険料支出		770,000	693,110	76,890		
賃借料支出		6,360,000	6,096,111	263,889		
車輛費支出		3,220,000	3,370,005	△150,005		
雑支出		160,000	120,000	40,000		
事務費支出		54,879,000	41,675,276	13,203,724		
福利厚生費支出		5,580,000	5,537,028	42,972		
職員被服費支出		1,380,000	1,172,485	207,515		
旅費交通費支出		190,000	27,417	162,583		
研修研究費支出		870,000	674,026	195,974		
事務消耗品費支出		1,501,000	1,414,855	86,145		
印刷製本費支出		190,000	73,580	116,420		

資金収支計算書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	水道光熱費支出	920,000	983,129	△63,129	
	燃料費支出	30,000		30,000	
	修繕費支出	4,710,000	3,548,423	1,161,577	
	通信運搬費支出	1,830,000	1,747,443	82,557	
	会議費支出	80,000	16,182	63,818	
	広報費支出	100,000	53,000	47,000	
	業務委託費支出	20,780,000	10,876,113	9,903,887	
	手数料支出	300,000	226,676	73,324	
	保険料支出	1,730,000	1,661,158	68,842	
	賃借料支出	3,070,000	2,808,683	261,317	
	土地・建物賃借料支出	1,263,000	1,262,453	547	
	租税公課支出	340,000	216,650	123,350	
	保守料支出	8,590,000	8,417,468	172,532	
	渉外費支出	130,000	117,766	12,234	
	諸会費支出	895,000	781,100	113,900	
	雑支出	400,000	59,641	340,359	
	利用者負担軽減額	3,460,000	3,285,275	174,725	
	その他の支出	1,090,000	291,340	798,660	
	利用者等外給食費支出	20,000		20,000	
	雑支出	1,070,000	291,340	778,660	
	流動資産評価損等による資金減少額	6,000		6,000	
	徴収不能額	6,000		6,000	
	事業活動支出計(2)	853,520,000	834,837,118	18,682,882	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	48,469,000	71,022,524	△22,553,524	
施設整備等による収支	収入				
	固定資産売却収入		30,000	△30,000	
	車輛運搬具売却収入		30,000	△30,000	
	施設整備等収入計(4)		30,000	△30,000	
	支出				
	固定資産取得支出	10,340,000	9,748,052	591,948	
	建物取得支出	3,000,000	2,970,000	30,000	
	車輛運搬具取得支出	3,500,000	3,490,350	9,650	
	器具及び備品取得支出	2,640,000	2,150,302	489,698	
	その他の固定資産取得支出	1,200,000	1,137,400	62,600	
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,250,000	2,227,284	22,716		
施設整備等支出計(5)	12,590,000	11,975,336	614,664		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△12,590,000	△11,945,336	△644,664		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	36,020,000	36,875,704	△855,704	
	退職給付引当資産取崩収入	36,020,000	36,875,665	△855,665	
	施設整備積立金取崩収入		39	△39	
	その他の活動収入計(7)	36,020,000	36,875,704	△855,704	
	支出				
	積立資産支出	55,427,000	54,322,457	1,104,543	
	退職給付引当資産支出	10,230,000	9,127,950	1,102,050	
	施設整備等積立資産支出	45,197,000	45,194,507	2,493	
	その他の活動支出計(8)	55,427,000	54,322,457	1,104,543	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△19,407,000	△17,446,753	△1,960,247		
予備費支出(10)	12,000,000		12,000,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,472,000	41,630,435	△37,158,435		
前期末支払資金残高(12)	335,719,426	335,719,426			
当期末支払資金残高(11)+(12)	340,191,426	377,349,861	△37,158,435		

事業活動計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	761,658,259	771,253,156	△9,594,897	
	施設介護料収益	440,442,299	472,067,907	△31,625,608	
	居宅介護料収益	165,419,612	144,883,341	20,536,271	
	(介護報酬収益)	150,495,817	129,143,838	21,351,979	
	(利用者負担金収益)	14,923,795	15,739,503	△815,708	
	居宅介護支援介護料収益	22,752,390	23,071,170	△318,780	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,379,634	7,993,710	△614,076	
	利用者等利用料収益	122,074,128	121,059,690	1,014,438	
	その他の事業収益	3,590,196	2,177,338	1,412,858	
	老人福祉事業収益	124,187,962	128,536,680	△4,348,718	
	措置事業収益	124,187,962	128,536,680	△4,348,718	
	その他の事業収益	15,925,724	4,416,992	11,508,732	
	その他の事業収益	15,925,724	4,416,992	11,508,732	
	経常経費寄附金収益	205,000	553,000	△348,000	
サービス活動収益計(1)	901,976,945	904,759,828	△2,782,883		
費用	人件費	642,073,610	671,994,831	△29,921,221	
	役員報酬	240,000	219,000	21,000	
	職員給料	381,260,101	395,667,533	△14,407,432	
	職員賞与	80,137,098	88,432,343	△8,295,245	
	賞与引当金繰入	36,395,373	38,730,833	△2,335,460	
	非常勤職員給与	35,995,570	34,576,320	1,419,250	
	退職給付費用	27,539,208	29,539,452	△2,000,244	
	法定福利費	80,506,260	84,829,350	△4,323,090	
	事業費	123,068,200	121,088,987	1,979,213	
	給食費	50,992,121	51,951,911	△959,790	
	介護用品費	6,858,544	6,660,365	198,179	
	医薬品費	5,476,059	5,692,399	△216,340	
	保健衛生費	2,467,405	453,093	2,014,312	
	被服費	275,634	248,178	27,456	
	教養娯楽費	568,156	589,676	△21,520	
	日用品費	2,746,794	2,269,762	477,032	
	本人支給金	3,813,936	3,558,591	255,345	
	水道光熱費	34,452,059	32,939,169	1,512,890	
	燃料費	113,194	373,024	△259,830	
	消耗器具備品費	5,025,072	6,604,987	△1,579,915	
	保険料	693,110	733,560	△40,450	
	賃借料	6,096,111	6,428,192	△332,081	
	車輛費	3,370,005	2,456,280	913,725	
	雑費	120,000	129,800	△9,800	
	事務費	41,675,276	43,550,688	△1,875,412	
	福利厚生費	5,537,028	4,966,615	570,413	
	職員被服費	1,172,485	1,066,084	106,401	
	旅費交通費	27,417	22,091	5,326	
	研修研究費	674,026	609,753	64,273	
	事務消耗品費	1,414,855	1,229,008	185,847	
	印刷製本費	73,580	158,222	△84,642	
	水道光熱費	983,129	937,985	45,144	
	修繕費	3,548,423	6,620,236	△3,071,813	
通信運搬費	1,747,443	1,688,233	59,210		
会議費	16,182	15,034	1,148		
広報費	53,000	63,000	△10,000		

事業活動計算書

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
	業務委託費	10,876,113	10,305,687	570,426	
	手数料	226,676	238,719	△12,043	
	保険料	1,661,158	1,660,148	1,010	
	賃借料	2,808,683	2,990,569	△181,886	
	土地・建物賃借料	1,262,453	1,262,453		
	租税公課	216,650	209,250	7,400	
	保守料	8,417,468	8,554,238	△136,770	
	渉外費	117,766	59,300	58,466	
	諸会費	781,100	818,500	△37,400	
	雑費	59,641	75,563	△15,922	
	利用者負担軽減額	3,285,275	3,413,018	△127,743	
	減価償却費	78,709,842	80,630,624	△1,920,782	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△32,925,855	△32,346,953	△578,902	
	徴収不能引当金繰入		△78,069	78,069	
	サービス活動費用計(2)	855,886,348	888,253,126	△32,366,778	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	46,090,597	16,506,702	29,583,895		
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	43,602	41,559	2,043	
	その他のサービス活動外収益	20,962,140	10,023,840	10,938,300	
	受入研修費収益	121,404	94,228	27,176	
	利用者等外給食収益	2,000	16,250	△14,250	
	雑収益	20,838,736	9,913,362	10,925,374	
サービス活動外収益計(4)	21,005,742	10,065,399	10,940,343		
費用					
支払利息	190,400	163,632	26,768		
その他のサービス活動外費用	878,842	3,125,136	△2,246,294		
雑損失	878,842	3,125,136	△2,246,294		
サービス活動外費用計(5)	1,069,242	3,288,768	△2,219,526		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	19,936,500	6,776,631	13,159,869		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	66,027,097	23,283,333	42,743,764		
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益		6,487,250	△6,487,250	
	施設整備等補助金収益		6,487,250	△6,487,250	
	固定資産受贈額		155,560	△155,560	
	固定資産受贈額		155,560	△155,560	
	固定資産売却益	30,000		30,000	
	車輛運搬具売却益	30,000		30,000	
	その他の特別収益	3,452,942		3,452,942	
	徴収不能引当金戻入益	3,452,942		3,452,942	
	特別収益計(8)	3,482,942	6,642,810	△3,159,868	
	費用				
固定資産売却損・処分損	17	7	10		
車輛運搬具売却損・処分損	3	1	2		
器具及び備品売却損・処分損	14	6	8		
国庫補助金等特別積立金積立額		6,487,250	△6,487,250		
特別費用計(9)	17	6,487,257	△6,487,240		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,482,925	155,553	3,327,372		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	69,510,022	23,438,886	46,071,136		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	422,002,635	443,894,197	△21,891,562	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	491,512,657	467,333,083	24,179,574	
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金取崩額				
	その他の積立金積立額(16)	45,194,468	45,330,448	△135,980	
その他の積立金積立額	45,194,468	45,330,448	△135,980		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	446,318,189	422,002,635	24,315,554		

監査報告書

令和4年5月26日

社会福祉法人 北但社会福祉事業会 御中

監事 榑原定雄 

監事 三木泰典 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事等の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

II 監査の結果

1 事業報告等の監査結果

監事 榑原定雄

- ・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・理事等の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ・法令及び定款に従い理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会は適正に開催されています。
- ・職員の配置状況は、介護保険法等の関連法規に基づく基準を満たしています。

(1) 各事業所について

ア こうのとり荘は、2月の新型コロナウイルスクラスターの影響で令和3年度の一
日平均利用者数は前年度実績137.6人を下回る135.9人で目標達成できませんでした。
今年度も新型コロナウイルスの影響は否めませんが、スムーズな入所調整を図
り、空床を最小限に留めて、入所を心待ちにする利用者・家族の希望に応える対応

を望みます。

イ コスモス荘は、令和3年度一日平均利用者数が55.4人で、前年度実績の57.1人人を下回っています。養護老人ホームは自施設で入所を決定できない事情もありますが、関係機関へのアプローチ方法などを検討し、きめ細やかな対応を精査・実行して、実績を回復することを望みます。

ウ 加陽いちごの里は、令和3年度の一日平均利用者数が15.2人で、目標の16人を達成できませんでした。豊岡市内には多くのデイサービスセンターがあるため、世の中の動向に注意を図りながら、十分に工夫を凝らして、利用者やケアマネジャーに選ばれる事業所を目指されることを望みます。

エ 豊岡やなぎの里は、令和3年度の一日平均利用者数が21.1人で、前年度実績の21.0人を上回っています。様々な工夫と地道な経営努力が結果となって表れています。この結果に慢心することなく、引き続き、利用者に喜ばれ、利用者の生きがいにつながるケアを期待します。

オ こうのとり居宅支援センターは、令和3年度のケアマネジャー1人あたりの月平均担当件数は34.5人で、前年度実績の34.8人を下回りました。居宅介護支援事業所の場合、効率性や実績確保のみを追求すると利用者・家族の信頼を損ねる対応につながりかねないため、傍らに寄り添うような丁寧な対応で、お客様との信頼関係を構築されることを望みます。

(2) 法人運営について

令和3年度は、こうのとり荘で2月上旬から新型コロナウイルスクラスターが発生した影響もあり、残念な結果となりました。中期計画では「三者満足の3本の矢」を謳われましたが、感染症のクラスターは、「利用者の満足」⇒体調不良でしんどい思い、「職員の満足」⇒通常以外の業務が増えてしんどい思い、「経営の満足」⇒業績が悪化して経営上しんどい思いと何ひとつ満足を得られることはありません。新型コロナウイルスの侵入を防ぐことは容易ではありませんが、当法人のお客様は重症化しやすい高齢者であることを念頭に、職員一人ひとりが社会福祉法人職員としてふさわしい行動を取り、一丸となって感染症対策を図るという組織づくりを幹部職員にはお願いしたい。

(3) 人事管理について

介護系職場の有効求人倍率が(令和4年1月時点で)3.69倍と前年同期の3.88倍から0.19ポイント下がってきましたが、依然、兵庫県の有効求人倍率1.08倍を大きく上回っており、業界の人材確保は厳しい状況と言わざるを得ません。新規職員の採用が困難を極める中、一度採用した職員の離職防止が重要なため、各種ハラスメントの防止の徹底は当然のこと、効率の良い業務を推進して働き方改革に沿ったワークライフバランスが取れる働きやすい職場の構築を望みます。加えて、将来を嘱望される若い職員たちがビジョンや志を持てる働きがいのある職場形成を期待します

・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(1) 会計監査については、総勘定元帳並びに関係書類の閲覧、聴き取り等必要と思われる監査手続きを用いて計算の正確性を検討しました。

計算書類は経理規程に定められている法人全体、拠点区分及びサービス区分毎にそれぞれ資金収支計算書、事業活動計算書及び貸借対照表が作成されており必要事項を中心に監査しました。

(2) 計算関係書類が当事業会の財産、収支及び純財産の増減の状況を重要な点において適正に表示しているかどうかについて検討しました。

ア 計算関係書類の増減の状況について、当事業会と拠点区分毎にそれぞれ事業活動計算書及び貸借対照表が前年対比表で、資金収支計算書は予算との対比表が添付されており、増減と変動等が表示されています。

イ 財産は、基本財産とその他の財産とに区分して管理されています。

ウ 固定資産は、勘定科目毎に且つ拠点区分毎に(一部はサービス区分毎に)管理されています。

エ 証憑書類は、会計責任者の承認を受け、会計伝票と関連を明らかにし、整理保存されています。

(3) 会計処理について

ア リース取引について

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引は、有形固定資産、無形固定資産ごとに、一括してリース資産として表示されています。重要性の乏しい少額なリース契約に係るものは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理がされており、決算日における未経過リース料の総額は、2,288,457円であります。

イ 棚卸資産の会計処理について

棚卸資産としては、おむつ等療養材料、給食用材料、医療品等が該当しますが、いずれも経常的に消費するもので、常時保有する数量はわずかで台帳に記載する等により管理されており、購入時に消費したものとして処理されています。(経理規程第44条第3項適用)

(4) 事業活動計算書について

事業活動の成果を示す事業活動計算書について検討しました。

別紙「令和3年度決算事業活動要約計算書前年対比表」参照

収入の部では、豊岡やなぎの里を除いて利用者が減少しました。新型コロナウイルス蔓延により補助金と委託金を受けましたが収入は減少しました。また、全体のサービス活動収益計の前年対比では2,998千円減の910,574千円でした。

費用の部では、人件費について全体では定年退職と中途退職の影響で、前年と対比して29,920千円減でした。結果として人件費率は収入対比で70.5%と前年度末の73.6%より減少しました。

事業費では、抗原検査キットやガウン等感染症にかかる消耗品の増加により事業費全体の前年対比が 1,979 千円増となり、修繕工事の減少で事務費全体の前年対比が 2,092 千円減でサービス活動増減差額は 46,091 千円となりました。

その他の活動外収益では、前年度の定年退職 7 名の退職金の影響が大きく雑収益の前年対比が 25,168 千円増となり、サービス活動外増減差額が 13,160 千円増額となりました。

特別収益では、徴収不能額の見直しにより徴収不能額 0 円としたことで、徴収不能戻入益の前年対比が 3,453 千円増額となりました。

当期活動増減差額は、前年対比で 46,072 千円増の 69,510 千円となりました。

本年度は、このとり荘等の利用者減少となりましたが、感染症の委託金および補助金で収益の確保に努めていただき、費用では定年退職者による人件費の減少によりサービス活動増減差額が前年を大きく上回る計上となり、経営強化に努めていただきました。

引き続き感染症の蔓延という逆風の中、今後も利用者確保により収入の安定を図り、経営の充実に努められ、感染対策に留意して利用者の皆様に安らぎのある空間を提供し、職員にとっても働きがいのある職場になるよう一層の努力を期待します。

